

答 広域ごみ処理施設建設候補地について、銚子市野尻町地区を有力な候補地として検討することであり、決定ではありません。

ごみ処理施設を引き受ける市は最終処分場用地についても責任を持つと首長会で合意されており、東総地区協議会でも特に反対の意

今後、施設の建設に当たっては、東総地区広域市町村圏事務組合議会で十分協議しながら、効率的なごみ処理方法を図ることを念頭に、本市、銚子市、旭市、3市のごみ処理の現状に見合った適正な施設規模について検討していきます。



環境

問 光ブロードバンド施設整備事業について、施設整備後のケーブルの維持管理は所有者が市であるため、行政が責任を持たなければならない。整備対象地域内NTT固定電話加入件数の20%程度が光ブロードバンドに加入しないと採算割れするとのことだが、ランニングコストを明確にしままでは、市の行財政運営の行く末が不安だが。

答 ランニングコストとしては、電柱やマンホールの使用料、光ファイバ

ーの保守点検費用が積算の根拠となります。今後各種契約を結ぶ上で精査していくことになりますが、昨年実施した業者選定プロポーザルにおける企画提案されたランニングコストの額は合計で2,868万円です。

光プロードバンド

議会人事

新たに委員会、一部事務組合議会議員、監査委員を、次とのおり選任・選出しました。

た鳩山内閣の前向きな変化への対応が不十分、第3に財政健全化の名のもとに市民に負担を求め犠牲を強いる予算である、第4に合併特例債活用事業に見られるような、国と業の制約、誘導によって、不要不急の事業計画、国の財政支援助成による事業の大型化が推進されています。

光ブロードバンド施設整備の問題は、もともと市民要求が強くないわけです。

公設民営という小泉改革の典型的な手法であり、われわれ議員が真剣にこの構造改革路線を見直さなければならぬ時期に、一部の民間会社に4億6,000万円という多額の税金が投入され、断じて許すことができん。

いずれにしても、国が言うがままの予算執行というものが議案第1号の中にあるということです。転換と変化の時代が到来しています。市民の願いがもつと反映される、市長がマニフェストで示した市民のための財政支出を心から求めた

市長は、議案第1号の議論の中で、国や県へ言ふべきことは、費税増税については早計画の見直しを検討、消費税無料化は前向きな形で坦白に指示をしたなど、並んで、向こうな答弁をされていますので、特に6月議会での公約実現のために全力を傾注されることを期待したいと思います。

源の確保が図られているところです。また、予算編成に当たつては、枠配分方式と枠配分では見込めない福祉関係経費などは枠配分外経費として、市民ニーズに即した事業の選択と集中により、メリハリのある予算編成が行われたものと評価します。